

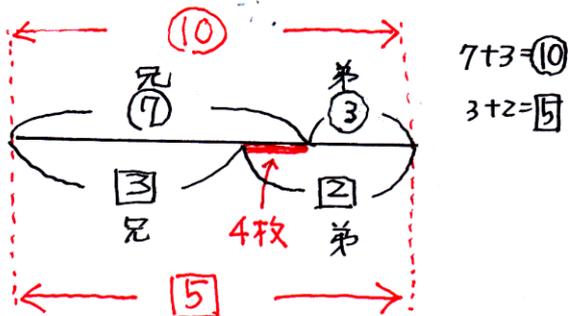
必修例題 6

- (1) はじめ、兄と弟の持っているカードの枚数の比は $7:3$ でしたが、兄が弟に 4 枚あげたので、兄と弟の持っているカードの枚数の比は $3:2$ になりました。はじめ、兄が持っていたカードの枚数は何枚ですか。
- (2) はじめ、姉と妹の持っているお金の比は $5:3$ でしたが、2 人とも 420 円ずつ使ったので、姉と妹の持っているお金の比は $4:1$ になりました。はじめ、妹が持っていたお金は何円ですか。

(1) 兄は 4 枚減って、弟は 4 枚増えただけなので、2 人の持っている枚数の合計は変わりません。

このような問題を「和が一定の問題」といいます。

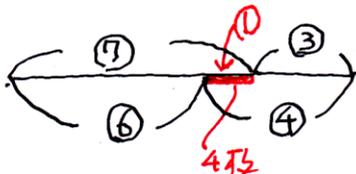
この場合は、1 本線の図をかきます。



$7+3=10$ $3+2=5$ $10=5$ の2倍

$\square \times 2 = 10$ の長さに合わせます。

$3 \times 2 = 6$ $2 \times 2 = 4$



$7-6=1$ で、これが 4 枚にあたります。

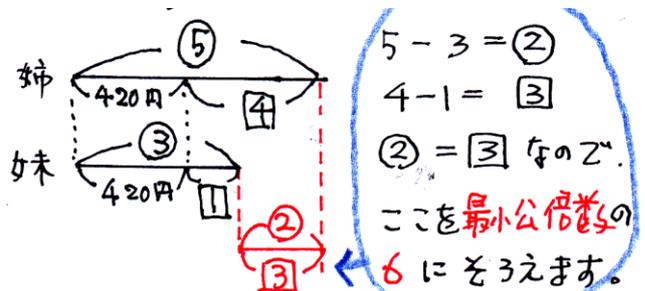
したがって、はじめに兄が持っていた枚数は 7 なので、 $4 \times 7 = 28$ 枚

28 枚

(2) 2 人とも 420 円ずつ使っていますから 2 人の差は変わりません。

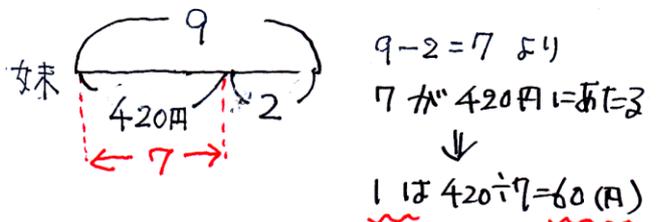
このような問題を「差が一定の問題」といいます。

2 本線をかいて、使った金額を 左はしにそろえます。



$\square \times 3$ $\square \times 2$ です。

妹で考えると $3 \times 3 = 9$ $1 \times 2 = 2$



妹が持っていたお金は 9 なので、

$60 \times 9 = 540$ 円

540 円